


2010～2011年度  RI会長 レイ・クリンギンズミス 地区ガバナー 井橋吉一	国際ロータリー第2770地区第10グループ <b>三郷中央ロータリークラブ</b>  <b>週 報</b> 会 長 沖 良男 幹 事 橋 和宏	例 会 1月18日(火) 第977回	発行 会報・IT委員会 ・委員長 田中欣一 ・副委員長 谷津茂男 ・委員 浅賀紀一 大井巳喜彦 宮田 博 橋 和宏
		例会会場 そば処「鈴家」	
		SAA 大井巳喜彦	
		ローターリー特別月間 <b>ロータリー理解推進月刊</b>	
URL <a href="http://www.misatochuo-rc.com/">http://www.misatochuo-rc.com/</a>		事務局 海老原 美智子 TEL 048-953-7711 FAX 048-953-7070	

## 第977回 [夫人同伴新年例会] 2011年1月18日(火)

[本日のお客様:丸山 鳴様(松井克彦冠名財団奨学生)オーストラリア留学]

### 1. 司会 大井巳喜彦SAA



### 2. 会長挨拶 沖 良男会長



新年明けましておめでとう御座います。皆様新年をお健やかに過ごしたと思っております。又、本日はお忙しい中ご夫人同伴で多くの出席をいただきありがとうございました。1月の7日には市内三クラブの合同新年会がありました。中央RCは今人数が一番少ないにもかかわらず出席者は一番多かったです。皆様のご協力に感謝いたします。11日には第7回理事会が開かれ後半の年度に向けて決意を新たにいたしましたところでございます。ロータリー年度は7月から始まります。前半が終わりましたが思うようには行きませんでした。本日は、下半期新年最初の例会ということで浅賀さんに席を儲けていただきました。

新会員を増やして、伊藤年度にバトンタッチしたいと思っておりますので皆様に一層のご協力をお願いいたします。

### 3. 第977回幹事報告 浜田一夫副幹事



#### 1. 三郷市内関係からの報告

##### ① 三郷市暴力排除推進協議会より

「三郷市暴力排除推進協議会」視察研修会開催について

日時:平成23年2月24日(木) 集合:午前9時(市役所西側公用車駐車場)

場所:茨城町(少年院)

#### 2. ガバナー事務所からの報告

##### ① 井橋ガバナーご苦労さん会・三國ガバナーエレクト激励会開催のご案内

日時:平成23年5月25日(水) 午後7時～

会場:ROYAL SONESTA HOTEL(ロイヤル ソネスタ ホテル)

登録料:10,000円

##### ② 「2010年手続き要覧」発行のお知らせ

##### ③ 全国ローターアクト研修会登録再度のお願い

日時:平成23年2月11日(祝)、12日(土) 開会式 午後1時

場所:大宮ソニックシティ大ホール 登録料:15,000円 締切:1月24日

##### ④ 米山記念奨学会より「ハイライトよねやま131号」発行のご案内

I 寄付金速報 II 台湾学友会総会報告 III 韓国学友会ホームページのお知らせ

IV 第2650地区米山学友会が財団学友会と合同交流会

#### ★重要なお知らせ★

●確定申告用領収書・昨年1月～12月で2,000円以上の特別寄付をされた方には1月までに認定書の写しが付いた申告用領収書が各クラブ宛に郵送されます。

##### ⑤ 2011～12年度RIテーマ発表(カルヤン・バネルジーRI会長)

”Reach Within to Embrace Humanity“

『こころの中を見つめよう 博愛を広げるために』

#### 4. 他クラブ様からの報告

① 三郷WDRC様より三クラブ合同新年会収支報告書及び衆法の受領

#### 5. 我がクラブからの報告

① 1月25日(火)の例会会場は、三郷市商工会館2階会議室です。

#### 4. お客様挨拶 丸山 晴様 (財団奨学生) 帰国報告



皆様お久しぶりです。丸山です。おかげさまで一年間の留学が終了し、11月29日に日本に帰国しました。

留学中は連絡不足で、クラブの皆様には大変なご心配をおかけいたしまして、申し訳ございません。

本日は、帰国報告のスピーチのお時間を頂きましたので、留学中の体験を、ご報告いたします。

オーストラリアでの留学生活に関して主に3つのことについてご報告したいと思います。まず、親善奨学生としてのロータリーとの関わり、次にオーストラリアでの生活について、そして最後に学業についてご報告申し上げます。

まず、ロータリーとの関わりですが、私は2008年度に三郷中央ロータリークラブ様にご推薦いただきまして、国際ロータリー第2770地区の2009年-2010年度の松井克彦冠名国際親善奨学生として1年間、オーストラリアのメルボルンに派遣されました。

派遣先は第9800地区のバーウィンロータリークラブというメルボルンの郊外にある街のクラブで、1972年に設立された90名を超える大変大きなクラブでした。例会時間は、三郷中央ロータリークラブと同じ火曜日で、夜の7時からゴルフクラブで夕食を食べながら行います。

例会では毎回、ゲストがこられて卓話を行います。カメラマンの方や元フットボールの選手、州知事など、様々な分野で活躍されている方のお話を聞く事ができ、大変有意義な時間を過ごす事ができました。

また、私も親善奨学生としてスピーチをさせて頂きました。埼玉県や派遣元である三郷中央ロータリークラブ様の紹介を行ったり、折り紙などの日本文化についての卓話などを行いました。折り紙は現在オーストラリアの小学校でも教えられているとの事で、皆様大変興味をもたれていらっしゃいました。

私の顧問カウンセラーは、来年度のバーウィンロータリークラブの会長さんになるピーター・フルーさんという方で、メルボルンに到着してからの家探や、銀行の口座開設、学校の手続きなど、大変お世話になりました。

また、他の奨学生と交流する機会にも積極的に参加しました。メルボルンでのオリエンテーションでは、同じ第2770地区奨学生の荒川さんと再会したり、前年度の奨学生の駒場さんという方とお会いしました。また、ドイツ、アメリカ、フランスからの国際親善奨学生とも会い、お互いの国を紹介しあったりして、友好を深めました。奨学生の何人かとは、インターネットを通して今でも情報交換をしています。

また、バーウィンロータリークラブが行っているフリーマーケットや、植林等の社会奉仕プロジェクトにも積極的に参加し、親善奨学生としてできる限りボランティアプロジェクトに協力させて頂きました。

次に、オーストラリアでの日常生活に関してお話しします。メルボルンはガーデンシティと呼ばれているほど緑や公園が多い街で、また治安も想像していたよりも良く、大変環境に恵まれた1年を過ごしました。

また、オーストラリアは移民が多い為、食文化が発達していき様々な国の料理を気軽に食べる事ができました。

移民の中でも特に中国系アジア人が多く、街をあるいていると、オーストラリアではなく、アジアに住んでいるのではないかと錯覚するほどでした。

ただ町並みはイギリスの植民地時代に建築されたヨーロッパ風の立派な建物が多、映画の中にあるような気分になりました。

日常生活の中で驚いたのは、人々の環境への意識の高さでした。特に雨の少ないメルボルンでは、水不足が深刻な問題となっていて、使える水の量に制限があります。シャワーの目安は3分、庭の水やりも毎日できるわけではなく番地が奇数か偶数かによって、水をまける日がまっています。また現地生活してお米が食べたくなりスーパーに買いにいったのですが、水不足で米ができず、供給されていないと言われた時もありました。日本で暮らしていたときは、水を使うということに神経を使っていませんでしたので、水を不自由なく使えるということの大切さやありがたさについて実感しました。またあちらの人は買い物の際に必ずマイバッグを持って買い物にゆき、スーパーの袋は極力もらわないようにしていました。こういった1人1人の環境への配慮や、小さな積み重ねが将来、環境にとってプラスとなるのだな、と考えさせられました。

次に、学業に関してですが、国際的な知名度の高いメルボルン大学の大学院の修士課程の一年目に入りました。日本の学生時代に専攻していた文化人類学を学ぶつもりで行ったのですが、いざ到着してみると、その学部は今年から無くなったといわれました。そこで、大学院のアドバイザーに相談したところ、文化人類学の教科も少し提供している学科があるとのアドバイスを受け、国際関係学科に入りました。

国際関係学科では、国際紛争問題や安全保障、外交政策などについて学びました。学科が無くなるというトラブルに見舞われ、また全く予備知識のない分野だったので、ついてゆくのが精一杯でしたが、次第にセミナーにて友人もでき研究も楽しみました。10月にはハミッシュ・マルコム賞という賞を頂きました。これは、メルボルン大学院の留学生で特に優秀な成績をおさめた者に送られる賞です。

この様な素晴らしい環境で過ごすことができたのも、ロータリーの支援があってこそできたものです。今後の予定なのですが、

あちらで借りていたアパートの契約が2月に切れるので、一旦メルボルンへ戻り、契約解除の手続きをする予定です。また奨学生としての期間は1年なのですが、大学院は2年間のコースに入学したため、まだ大学にも籍が残っております。私といたしまして、修士の学位を取得したいという気持ちが強いのですが、親善奨学生としての帰国報告義務との兼ね合いもありますので、またご相談して自分の進路を決めたいと思います。最後になりましたが、大変貴重なチャンスを与えてくださったロータリーの皆様に、改めて感謝の意を述べたいと思います。ロータリーの親善奨学生として留学ができて、本当に良かったです。国際親善奨学生として、今後も日本と世界との架け橋となるべく、努力して参りたいと思います。本当にありがとうございました。

## 5・ 結婚・誕生祝い



伊藤 隆会員(1月2日)73歳

田中欣一会員(1月13日)64歳

おめでとう御座います。



お疲れ様でした。今年も皆様にとって良い年でありますように！！